

(井野先生からの質問に対する保安院からの回答)

質問6 第5回高経年化意見聴取会(1月23日)資料2「原子炉压力容器の中性子照射脆化について」(原子力安全・保安院)について質問する。

p4に脆性遷移温度予測値と実測値の比較が14原発について示されており、「照射量が増えるにつれて、予測値よりも実測値が高くなる傾向が見受けられるのではないか」と書かれている。しかし、玄海1号炉が42℃もの偏りを示しているのに対し、比較的低い照射領域から系統的に下方へずれている伊方1号炉の1点を別にすれば、その偏りはいずれも20℃以内である。高照射領域で加速される脆化をJEAC4201-2007の予測式が適切に評価・予測できていないという疑念は共有するが、玄海1号炉はそれに加えて、この炉独自の問題があることを軽視してはならないと考える。今後、この問題をどのように解明すべきと考えるか、保安院にお尋ねする。

(答)

玄海1号炉の独自の問題があるか否かは、本意見聴取会において専門家にご議論して頂きたいものであり、専門家の議論を踏まえて判断すべきものとする。